

ここでは、名前の頭文字から3Mと呼ばれた、20世紀イタリアを代表する3人の彫刻家を紹介します。

アルトゥーロ・マルティーニ（1889-1947）は、イタリア彫刻の長い歴史と伝統に向き合い、様々なスタイルや素材で制作しました。彫刻を絵画的に表現することを探求し、現代イタリア彫刻の方向を変えたとも言われています。

マリノ・マリーニ（1901-1980）は、はじめ絵画や版画を手がけていましたが、古代イタリアのエトルリア美術やマルティーニの作品に影響を受け、彫刻を中心に活動するようになりました。馬と騎手の彫刻や肖像彫刻を数多く手がけ、国際的な名声を得ました。

ジャーコモ・マンズー（1908-1991）は古代ローマ彫刻に強い影響を受け、古典的な格調を持ちながら情感豊かな作品で世界的な人気を博しました。代表的な主題の一つが「枢機卿」です。

伝統にとらわれることなく、絶えず新しい形象を追求し続け、後続の作家たちに大きな影響を与えた3人の巨匠の表現をお楽しみください。

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	アルトゥーロ・マルティーニ	1889~1947	アマゾンの死	1935	47.6×35.0×15.7	ブロンズ
2	マリノ・マリーニ	1901~1980	コンポジション	1955	57.0×48.0×30.6	ブロンズ
3	ジャーコモ・マンズー	1908~1991	枢機卿座像	1981-82	109.5×66.9×56.6	黒檀

パブリックゾーン

令和6年4月13日~令和7年4月8日

■展示作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	大きさ(cm)	材質
1	奥村 良弘	1936~	岬	1960 (昭和35)	25.1×21.0×16.5	ブロンズ
2	ヴェナンツォ・クロチェッティ	1913~2003	水浴の女性	1978	165.6×107.8×70.2	ブロンズ